

令和4年11月25日

保護者 各位

豊見城市立長嶺小学校
校長 桑江 常勝
(公印省略)

豊見城市立小中学校における地域の感染レベルに応じた感染症対策について
(令和4年11月8日時点)

暮秋の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。
また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝いたします。

さて、令和4年11月4日に「コロナかな?と思ったら」が更新されましたのでお知らせいたします。

また、豊見城市の感染症対策については下記のとおり、県立学校の感染症対策に準じた対策となります。

本校でも、今後の感染状況を注視しながら、感染対策を行ってまいりますのでご理解とご協力よろしくお願いいたします。

記

【県立学校における地域の感染レベル】

令和4年11月8日時点の感染レベル・・・レベル2

1 地域の感染レベルに応じた感染症対策について

新型コロナウイルス感染症に係る県立学校における地域の感染レベル別の感染症対策(別紙1-1および1-2)に準じた対策を行います。
※右側のQRコードより閲覧可



2 出席停止について

- (1) 児童生徒本人の発熱や風邪症状による休みは「出席停止」とします。
- (2) 同居家族に未受診の発熱や風邪症状がみられる場合は「出席停止」となります。

3 健康観察について

- (1) 児童生徒が校舎に入る前の教職員による健康観察については、学校内の感染リスクが高まった場合など、状況に応じて行うものとします。
- (2) 家庭における毎朝の検温や健康チェックシートの記入・提出は継続します。
- (3) 教職員による児童生徒の健康観察および健康チェックシートの確認は継続します。

新型コロナウイルス感染症に係る県立学校における地域の感染レベル別の感染症対策
令和4年7月22日時点

文部科学省 衛生管理マニュアル 地域の感染レベル	レベル1	レベル2	レベル3		
			①	②	③
【感染予防の方策】	保健教育重点 ←		→ 保健管理重点		
【保健教育】 児童生徒の持参物	清潔なハンカチ・ティッシュ、マスク、マスクを置く際の清潔なビニールや布等				
手洗い	①登校後、外から教室に入るとき、咳やくしゃみ・鼻をかんだとき、給食(昼食)の前後、掃除の後、トイレの後、共有物を触る前後(手指で目、鼻、口をできるだけ触らない)		①+休み時間ごと		
咳エチケット	咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。				
規則正しい生活	「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスの取れた食事」				
【健康観察】 健康観察の活用	①児童生徒等の朝晩の体温、体調、保護者のサイン等を記入(別紙4)		①+同居の家族の状況(別紙5)		
朝の健康観察	①児童生徒等に発熱等の風邪症状がないかどうかを教室等で確認		①+同居の家族に未診断の発熱等の風邪症状がないかどうかを校舎に入る前に確認		
忘れたい者への対応	教職員が教室等に対応		教職員が校舎に入る前に対応		
【出席停止】 学校保健安全法 第19条	①感染が判明した者 ②感染者の濃厚接触者 ③感染が疑われる者 ・症状があり検査を受けている者(濃厚接触者以外) ・感染者と接触があり学校長が出席停止を指示した者 ④ [*] 発熱等の風邪症状が見られる者(新型コロナウイルス接種の副反応の可能性も含む) →ただし、症状がなくなれば、原則、登校は可能。		①+②+③+④ [*] +同居の家族に未診断の発熱等の風邪症状が見られる者(同居の家族に症状がなくなれば登校は可能)		
	④ [*] の症状が新型コロナウイルス感染症ではなく別の疾患によることが判明した場合は病欠とする。				
【体調不良者等への対応】	当該児童生徒を安全に帰宅させ、症状がなくなるまで自宅で休養するよう指導する。保護者の来校まで学校にとどまることが必要な場合は、他の者との接触を可能な限り避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮をする。(保健室において、外傷や心身の不調などで入室した者と発熱等の風邪症状のある者が他の児童生徒と接することがないようにする。)抗原簡易キットを使用する場合は、手引書を踏まえ、適切に使用する。				
体調不良者等(出席停止の者を含む)の把握、指導及び連絡	①体調不良者等の数及び症状については、学校内で情報を共有しておく。 ②息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状がある者、重症化しやすい者、発熱等の風邪症状が4日以上継続している者へは、「新型コロナウイルス感染症 相談窓口(コールセンター)」等へ相談するよう指導する。 また、上記(下線部)以外の症状であっても、症状がある場合はできるだけ医療機関の受診を促す。 ③体調不良者等の増加等がある場合、所管の教育委員会へ電話にて連絡する。				
【報告】 学校等欠席者・感染症情報収集システムへの入力(出席停止)	・「発熱等の風邪症状が見られる者」→「発熱等による」へ入力 ・「感染者の濃厚接触者に特定」→「新型コロナ濃厚接触者」へ入力 ・「新型コロナ疑いの者」→「その他の感染症」へ入力 ・「感染が判明した者」→「新型コロナウイルス感染症」へ入力 ・「感染が不安等で校長が認めた者等」→「事故欠・急引き等入力」の「その他」 【レベル2、3】・「家族等の風邪症状が見られる者」→「家族等のかぜ症状による」へ入力 【患者発生時】・患者発生により臨時休業を行う場合→「欠席者/臨時休業登録」→「学校閉鎖等」 →疾患名「新型コロナウイルス感染症」		【臨時休業の場合】 ・患者は発生していないが教育委員会等の指示により臨時休業を行った場合→「欠席者/臨時休業登録」→「学校閉鎖(学年・学級)」→疾患名「教育委員会または主管課の指示による」		
様式による報告(感染者発生時のみ)	・FORMSIによる報告				
【普段の清掃・消毒】 場所と回数	・床は通常の清掃活動				
消毒液と使用方法	・机、椅子は、通常の清掃活動において、新型コロナウイルスに対する有効性が認められている家庭用洗剤等を用いて拭き取り掃除を行う。 ・大勢が手を触れる箇所(ドアノブ、手すり、スイッチなど)は、1日1回程度、水拭きした後、家庭用洗剤や消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭く。 ※児童生徒の手洗いが適切に行われている場合には省略可能。 ・文部科学省「衛生管理マニュアル」や国が示した新型コロナウイルスに有効な消毒液や洗剤を用いて、その使用方法に従い清掃・消毒を行う。				
【感染者発生時の消毒】	・学校教職員で実施する場合は、学校人事課健康管理班作成の「感染者が発生した施設の消毒について」を熟読の上、実施。 ※「感染症対策等の学校活動支援事業」を活用し、専門業者に消毒作業を委託することも可能。(あらかじめ予算立てを行っていない学校は要相談)				
【3密の回避】 「密閉」の回避(換気の徹底)	①常時2方向の窓を同時に開ける。 ②常時換気が難しい場合は、30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する。 ③窓のない部屋は常時入り口を開けておいたり、換気扇を用いたりして十分に換気する。(人の密度が高くならないように配慮する) ④体育館のような広く天井の高い部屋であっても換気に努める。 ※エアコン使用時も同様の対応とする。少なくとも休み時間毎には窓を開け、換気を行う。				
【密集】の回避(身体的距離の確保)	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること		できるだけ2m(最低1m)		
【密集】の場面への対応(マスクの着用)	・身体的距離が十分とれない時や公共交通機関(バス、モノレール等)を利用する場合はマスクを着用する。 ※ただし、マスクの着用については、学校教育活動の様態や児童生徒等の様子などを踏まえ、臨機応変に対応する。				
※マスクを着用する必要がない場合	※十分な身体的距離が確保できる場合、熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合や児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時、登下校中で熱中症のおそれがある場合、体育の授業、運動部活動				

新型コロナウイルス感染症に係る県立学校における地域の感染レベル別の感染症対策(保健体育学習・部活動) 令和4年7月22日時点

別紙1-2

文部科学省 衛生管理マニュアル 地域の感染レベル	レベル1	レベル2	レベル3		
			①	②	③
<p>県立学校の保健体育学習ガイドライン例</p>					
<p>体育・保健学習</p>	<p>感染者が発生した学級等は、必要に応じて、感染リスクの高い活動の見直しや、マスクを着用しない活動の制限など、警戒度を高める工夫を図る。</p>				
	<p>1mを目安に、活動場所内で最大限の間隔をとる。</p>  <p>○体育授業:児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり、接触したりする活動は可能な限り感染対策を行った上で通常通り実施する。</p>	<p>○リスクの低い活動は、一定の距離を保ち、同じ方向を向き、回数や時間を絞るなどの十分な感染対策をした上で実施する。</p> <p>○体育授業:児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり、接触したりする活動はリスクが高いことから慎重に検討する。</p> <p>○体育授業:可能な限り、屋外で実施し、気温が高い日などは熱中症に十分注意をする。但し、屋内で実施する必要がある場合は、特に呼気が激しくなる運動は避ける。</p>	<p>○体育授業:児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり、接触したりする運動や感染症対策を講じてもなお、感染のリスクが高い運動は行わない。</p>		
<p>体育授業:マスク着用は必要ないが、体育授業における感染リスクを避けるため、児童生徒の間隔を十分確保する。但し、児童生徒がマスクの着用を希望する場合は否定するものではない。</p>		<p>体育・保健授業:年間指導計画の中で年度後半に指導する予定の学習分野を「先取り授業」として手順やルールを学んだり、自宅で取り組むことが可能な既習事項の反復学習等を行ったり、デジタルコンテンツ教材を利用した学習支援も考えられる。</p>			
<p>県立学校の部活動ガイドライン例</p>					
<p>部活動</p>	<p>・感染者が発生した部活動では、濃厚接触の疑いのある生徒・特定された生徒の活動停止と、必要に応じて、感染リスクの高い活動の見直しや、マスクを着用しない活動の制限など、警戒度を高める工夫を図る。</p> <p>・感染が拡大している場合(陽性者複数名発生等)は部活動停止の検討・実施。</p> <p>・練習や試合に付随する飲食等は行わないこと。</p>				
	<p>○可能な限り感染対策を行った上で通常通りの活動</p> <p>1mを目安に、活動場所内で最大限の間隔をとる。</p> 	<p>○可能な限り感染対策を行った上で通常通りの活動</p> <p>○可能な限り感染対策を行った上で通常通りの活動</p> <p>直近一週間に感染者が確認された地域ではより慎重な検討が必要。</p> <p>密集する運動、近距離で組み合う、接触場面が多い運動、向かい合っの発声する等の活動は慎重な検討が必要。</p>	<p>○可能な限り感染対策を行った上でリスクの低い活動から段階的に実施。</p> <p>直近一週間に感染者が確認された地域ではより慎重な検討が必要。</p> <p>密集する運動、近距離で組み合う、接触場面が多い運動、向かい合っの発声する等の活動は慎重な検討が必要。</p>	<p>○可能な限り感染及びその拡大のリスクを軽減させながら、なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて行う。</p> <p>できるだけ2m程度の間隔をとる。</p> 	
<p>全体を通じた留意事項</p>	<p>○トレーニングやゲーム、ミーティングなども三密にならないように配慮した状態で通常通り実施する。また、各競技団体から発出されているガイドラインにも留意すること。</p> <p>○ケガや熱中症防止等、安全管理に十分留意する。また、発熱等の症状が見られる場合は自宅で休養するよう指導すること。必要に応じて、抗原簡易キットを使用する。使用する場合は、手引きに従い適切に使用すること。</p> <p>○生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、教師や部活動指導員等が活動状況を常時確認すること。</p> <p>○活動時間や休養日については、部活動ガイドラインに準拠し、実施内容等に十分留意する。特に分散登校を実施する場合は、ガイドラインよりも短い時間の活動にとどめるなど、分散登校の趣旨を逸脱しないよう限定的な活動とする。</p> <p>○部活動の参加については、生徒・保護者の意向を尊重し、参加を強制しないこと。</p> <p>○大会等の参加については、学校として主催団体とともに、大会中の競技や演技中等はもとより、会場への移動時や会食・宿泊時、更衣室等の利用時においても生徒、教師等の感染拡大防止の対策を講じること。</p> <p>○練習試合や合同練習、合宿等の企画・実施に当たっては、地域の感染状況を踏まえ、部活顧問教諭だけでなく、学校として責任をもって、大会参加時と同様の感染拡大防止の対策を講じること。</p>				

コロナかな？ と思ったら

あなたを守り、医療を守るために協力いただきたいこと



沖縄県

新型コロナに感染していないか不安があり、検査を受けたい

症状あり

症状なし

陽性者と接触の可能性あり

陽性者と接触なし

体外診断用医薬品(医療用/一般用)の抗原検査キットで自己検査



購入案内はこちら

症状ありの小中高生がいるご家庭(RADECO)



申込WEBサイト

陽性

陰性

Bへ

陽性者登録センター



案内サイト

Aへ

まずは、かかりつけ医に相談。相談する医療機関に迷う場合は、県コールセンターに相談。医療機関に事前に連絡を入れたうえ受診

県コールセンター

098-866-2129

※24時間対応

小児の病院受診

(夜間・休日)

急な子どもの病気対処に迷う場合は

#8000番に相談



発熱外来対応
医療機関リスト

陽性

陰性

Aへ

Bへ

接触者PCR検査センターを受検



案内サイト

陽性

陰性

Aへ

Bへ

陽性と診断された方へ



案内サイト

民間検査機関を受検(一般無料検査)



PCR/抗原検査が受けられる民間検査機関一覧

陽性

陰性

Aへ

Bへ

子どもの体調不良時には?



子どもを見守るポイント

A. 陽性の場合

- 以下の①～④にあてはまる方は、「陽性者登録センター」へ登録すると共に、「自宅療養のしおり」を参考に、自宅療養又は療養について相談センターへ相談ください。
 - ① 65歳未満、② 入院が不要、
 - ③ 重症化リスクがない(治療薬又は酸素投与の必要がない)、
 - ④ 妊娠していない
- 上記①～④以外の方は、沖縄県コロナ対策本部の指示に従って療養を行ってください。

B. 陰性の場合

感染していても結果が陰性となる場合がありますので、引き続き感染対策にご協力ください。
 症状のある方は、インフルエンザ等ほかの疾病の可能性もあります。
 かかりつけ医に相談、または自宅で健康観察を続け、悪化する場合は受診を検討してください。

医療用・一般用抗原検査キットを使用し陽性となった方へ ～ 陽性者登録センターのご案内について～

沖縄県では、**自ら実施した抗原検査キットの結果が陽性**となった場合に、オンライン（電話等）による医師の診断後、発生届対象外の方でも行政サービスを受けられる体制を整備しました。これにより、直接医療機関を受診せずに新型コロナウイルスの診断を行い、その後の速やかなケアに繋げることが可能となります。

【ご利用・申請の流れ】

【手順1】ご自身で抗原検査キットによる検査を実施し陽性となった

※ 検査を実施する際は、**医療用又は一般用のキットで且つ有効期限内のもの**で実施してください。
医療用抗原検査キットの販売薬局は、沖縄県薬剤師会HPの「お知らせ欄」よりご覧下さい。

【手順2】電子申請システム（WEB）にて申請

QRコード読み取り後、ホームページの内容を必ず確認してください！

- 右のQRコードから「陽性者登録センター」のページにアクセスし、**内容・注意事項などの確認後**、陽性が確認されたご本人の①基本情報（氏名、生年月日及び連絡先など）、②使用した検査キット種類等を選択・入力して下さい。
- また、国が承認した医療用・一般用抗原検査キット及び検査結果が陽性であることを確認させて頂くため、③使用した検査キットの種類（商品名）、④検査の結果（判定ライン）が確認できる写真、⑤本人確認ができる身分証（運転免許証、健康保険証など）の**画像を添付**して下さい。



陽性者登録センターHP



添付イメージ（製品名）



添付イメージ（判定ライン）

【手順3】整理番号が記載されたメールをもって**申請完了（重要）**

- ※ 申請後、必ず整理番号が記載されたメールが届いているか確認してください。
- ※ 申請時に登録したメールアドレスに整理番号が記載されたメールが届いていない場合、申請が出来ていないため、再申請をお願いいたします。

○発生届対象の方（65歳以上・妊娠している方等）

【手順4】申請内容の確認（電話）

- センター事務局より、申請内容確認のお電話があります。
- ※ **12時以降に申請された場合は、次の日の対応となります。**

○発生届対象外の方

（65歳未満・妊娠していない方）

必要に応じて事務局よりお電話がありますので、必ず取るようにお願い致します。

【手順5】医師による電話問診

- 医師より、申請時にご記入頂いた連絡先にご連絡し、電話による問診を行った上で診断を行います（※本サービスは新型コロナウイルスの診断を行うもので、**治療や薬の処方を行うものではありません**ので、あらかじめご了承下さい）。

【手順6】陽性診断の通知メールをもって**登録完了**

- 医師の診断後、申請時にご入力頂いたメールアドレスにご連絡します。
その通知メールで陽性登録となります。手続きで必要になる可能性があるため、削除しないようご注意ください。
- 登録後に行政サービスを受けたい場合は、登録完了メール内の問い合わせ先にご確認ください。

沖縄県 陽性者登録センター 問い合わせ先

【問合せ受付時間】 10時～12時、13時～17時（土日・祝祭日含む）

TEL：080-4102-0267／080-6488-2381／080-6488-2382